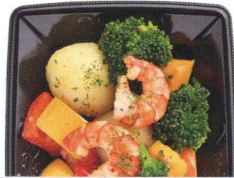


あなたのそばに、エフピコ。



FP CORPORATION RECRUITING

受付
2009.12.09
001277-



60/70s

80/90s

00/10s

60/70s Lifestyle

高度成長期に突入し、個人所得が向上。大量消費時代が訪れる。

FP's ANSWER >>> 「白トレー」の普及に貢献

高度経済成長期の真っただ中だった1960年代。集合住宅の増加に伴い、スーパーマーケットが急速に増加。衛生的・経済的なプラスチック製の容器は食品の流通に必要不可欠な存在として普及していきました。そこに商機を見出した創業者小松安弘は1962年に広島県で「福山パール紙工機」を設立。後に頭文字をとった(株)エフピコ (FP CORPORATION) に社名変更しました。



FP's ANSWER >>> バラエティに富んだお弁当が可能に

1970年代、スーパーマーケットが全国に展開し、後半には持ち帰り弁当のチェーン店が誕生。食品容器の需要が高まる中、エフピコは1971年、仕切りのある「ウッド組立食品容器」の製造を開始。これにより、ひとつの弁当容器に何種類ものおかずを入れることが可能となりました。その後、1983年に耐熱弁当容器を開発。「お弁当温めますか?」の常識の裏に、エフピコの貢献があります!



80/90s Lifestyle

食のファッション化と、環境・リサイクルへの関心が高まる。

FP's ANSWER >>> 「カラートレー」国内初の販売を開始

弁当や惣菜を買って食べる「中食」文化が定着した1980年代。食品容器は「食品を衛生的に消費者へ届ける役割」に加えて、「食卓を彩る“器”」に代わる存在へと変化しました。エフピコはこれらの要望に応えるべく、日本で初めて「カラートレー」の製造・販売を開始。中身や売り方の変化をとらえ、様々な素材・形・色・機能の容器を常に開発し続けています。



FP's ANSWER >>> 世界初! トレーからトレーへリサイクルシステムの構築

社会全体でごみの廃棄が問題となり、食品容器業界でもごみ処理問題の解決が求められた1990年代。エフピコは世界初となる循環型リサイクル「トレー to トレー」を開始。使用済みトレーを再び原料に戻して生まれる「エコトレー」は今やエフピコの大きな強みとなっています。地上資源を有効活用することでCO₂削減や原油使用量の節約にも繋がっています。



00/10s Lifestyle

ライフスタイルの多様化に伴い、「中食」、「個食」など食事シーンも変化。

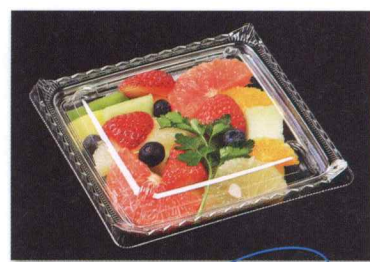
FP's ANSWER >>> いつでも「おいしい」が楽しめるオリジナル製品の開発

単身・共働き・高齢世帯の増加により中食市場の伸長が続く2000年代。エフピコはレンジ加熱後に持っても熱くない断熱性にすぐれるオリジナル製品を開発。また、汁が漏れにくい・盛付がズレにくい等、機能の向上も追求しながら、食のおいしさと安全安心に貢献しています。“食品トレー容器を通じて、快適な食生活を創造する”エフピコの挑戦は続きます。



FP's ANSWER >>> 世界初! 「ペットボトル」から透明容器の製造に成功

2012年には、さらに地上資源の循環活用を推進すべく、使用済みペットボトルをリサイクルして透明容器をつくる「ボトル to トレー」の取り組みをスタート。現在は年間5万トンの再生PET樹脂を生産しており、CO₂削減効果に加え、原料市場に影響を受けにくい体制を構築しています。再生原料メーカーとしての機能も強化し、さらに競争力を高めています。



エコトレー®
EcoPET®

持続可能な社会の実現に向けた取り組みが求められる時代へ。

XXs

エフピコグループは、
循環型ビジネスモデルを構築し
人と地球に優しい企業として発展し続けます。

エフピコグループの総合力

エフピコグループを「商社・メーカー」「製造（リサイクル）」「物流」「ディーラー」に分けて紹介。
これらの機能がバリューチェーンとなってつながり、グループの総合力が最大化されているのです。

← 製品の流れ

→ リサイクルの流れ

エフピコ

原材料の調達、生産計画の策定、
新製品の開発など、お客様のニーズをくみ取り、
提案する。

エフピコでは、スーパーマーケットなどの食品小売業者様のニーズをもとに原材料の調達、製造計画の立案、新製品・新素材の開発を行っています。そして、消費者のライフスタイルの変化にも対応しながら、課題を解決する提案を行っています。

製造

全国をカバーする
強力な生産体制と
最新の設備により、変化する
マーケットに柔軟に対応する。

策定された生産計画に基づき、全国19か所の工場で、年間200億枚を超える製品を生産しています。高品質な製品を安定供給するため、品質管理・安全性の確保の徹底はもちろん、生産設備の改良・開発、産業用ロボット導入による自動化を進めるなど積極的なIT投資を継続しています。

リサイクル

エフピコ方式の循環型リサイクル。
使用済み食品トレー・ペットボトルを
再資源化。

「食品容器を使い捨てて、ゴミを増やしたくない」という創業者の強い信念から、1990年に使用済みトレーを回収し、再生トレーとして甦らせる世界初の循環型リサイクルをスタート。2012年には使用済みペットボトルから再生トレーにリサイクルする世界初の挑戦もスタートし、環境負荷の低減に貢献し、持続可能な社会の実現に向けた大切な事業となっています。

製造・リサイクル

- (株)エフピコ北海道
- (株)エフピコ山形
- (株)エフピコ寒河江
- (株)エフピコ茨城
- (株)エフピコ下館
- (株)エフピコ筑西
- (株)エフピコ富山
- (株)エフピコ中部
- (株)エフピコ笠岡
- (株)エフピコ箕島
- (株)エフピコ福山
- (株)エフピコ神辺
- (株)エフピコ佐賀
- (株)エフピコ南郷
- (株)エフピコ鹿児島
- エフピコアルライト(株)
- エフピコグラビア(株)
- 西日本ペットボトルリサイクル(株)
- エフピコ愛バック(株)
- エフピコゲックス(株)

商社・メーカー

エフピコと各分野のプロフェッショナルが協働し、
お客様へ高品質なサービスを届ける。

エフピコグループには農産物や鶏卵などの分野の食品包装資材を開発・販売しているメーカーや、包装資材消耗品を取り扱う専門商社があります。5千億円といわれる食品容器市場の更なるシェア拡大と併せて、2.5兆円の資材消耗品のマーケットへ挑戦。お客様のニーズに的確に応えるコンシェルジュを目指しています。

物流

独自の物流システムを駆使して、正確性と効率性を徹底追及。

エフピコグループの物流システムは全国を網羅し、在庫管理から物流計画、出荷・配送までトータルでマネジメントしています。自動化・IT化を推進し、製品をお客様のもとへ「確実に」「計画的に」お届けする体制を整えています。リサイクルや資材消耗品マーケットへの挑戦も支えており、バリューチェーンの循環に重要な事業となっています。

物流

- エフピコ物流(株)
- (株)アイ・ロジック
- エフピコウエストロジ(株)
- エフピコイーストロジ(株)

ディーラー

食に関するあらゆる資材・消耗品を地域密着でお届けする。

エフピコグループの物流システムを活用し、地域密着で食品小売業者様などに、食品容器・包装資材・消耗品・食に関する機器など多岐に渡る商品を調達・販売しています。エフピコグループの情報力を生かした提案を行い、お客様から伺った声をグループ内の開発・提案につなげていきます。

ユーザー

スーパー・コンビニなど

消費者

商社・メーカー・ディーラー

- エフピコ商事(株)
- エフピコチューバ(株)
- エフピコダイヤファーズ(株)
- エフピコインターバック(株)
- エフピコみやこひも(株)
- エフピコイシダ(株)
- エフピコ上田(株)

01 営業 Sales

自分の提案が店頭で並ぶ喜び

Q. 現在の仕事内容は？

A. 私が所属する部署は顧客である大手流通企業のアウトバックを専門に扱っており、私の担当はお客様のアウトバック寿司部門や米飯部門等です。商談で当社の容器の魅力や製品力を提案し、容器の改変による見栄えの変化や利便性等を強く伝えるため、提案時は必ず容器のサンプルや実際に容器に中身を盛り替えたものを持参します。

Q. 仕事の面白さ、やりがいは？

A. 自分で提案した容器が売場に並んでいるのを見た時は嬉しいですね。容器を変えたことでお客様の売上が伸びたとお聞きした時も喜びを感じます。一人では解決できない課題にはチームワークで対応し、お客様の売上・利益の向上に貢献できるのもやりがいです。



本間 拓也
Takuya Honma
入社2年目
広域営業部 広域3課

02 営業アシスタント Sales Assistant

営業活動を裏で支える役割

Q. 入社のきっかけは？

A. 私が当社に興味を持ったのは、エフピコが私たちにとって身近なトレーを扱っていると知ってからです。そのトレーの柄や形や機能によって売り場の印象を変えられ、私たちの食生活の変化に対応できる点に面白さを感じました。

Q. 現在の仕事内容は？

A. 私が所属している東京営業2部は、主に東京・千葉・茨城・栃木エリアのお客様をカバーしています。営業活動を裏で支えるのが、私たち営業アシスタントの役割。営業担当者がお客様への訪問により多くの時間が費やせるよう、見積書の作成や商品の受発注業務、問い合わせ電話対応等、会社内の事務的な作業を行っています。



鳥居 美里
Misato Torii
入社1年目
東京営業2部 3課

03 製品開発 Products Development

次世代の「当たり前」に挑む

Q. 現在の仕事内容は？

A. スーパーやコンビニ等で使用されている食品トレー容器の開発担当です。営業と同行してお客様の声を直接伺い、試作品の作製、仕様の設定、価格の算出等を行います。製品化が決定したら実際に生産工場に行き、出来上がった製品の良し悪しを判断する立会もします。

Q. これからの目標・抱負は？

A. この仕事の良さは、自分が開発した製品が私たちの生活に役立つことです。昔は電子レンジ対応できなかった容器が使えるようになり、今、コンビニ等ではそれが「当たり前」になりました。製品開発を通して次世代の「当たり前」を生み出し、生活の基盤となる食生活をより豊かにできるよう挑戦していきたいです。



西井 良太郎
Ryotaro Nishii
入社3年目
製品開発2部 製品設計2課

04 ストア支援 Marketing

「ありがとう」は信頼関係の証

Q. 現在の仕事内容は？

A. ストア支援事業部は、社内外二つの面から営業活動をサポートする部隊です。社外活動では営業の商談と同行して提案や情報収集をし、社内活動では情報の分析や蓄積を行います。全国各地の営業がお客様からヒアリングして得た要望や成功事例等、膨大な情報を他のお客様にも還元できるように提案書や販促ツールを作成しています。

Q. 仕事の面白さ、やりがいは？

A. 初めは私の提案にあまり興味を持ってもらえませんでした。お客様個々の考えや好みに合わせ、入手した情報から「これはあのお客様向きだな」と取捨選択して提案を重ねた結果、少しずつ信頼関係を築きました。「ありがとう」とお礼の言葉を頂戴した時は感激でした。



入澤 美咲
Misaki Irisawa
入社2年目
ストア支援事業部

05 設備 Facility Management

生産性向上と安全性を両立

Q. 入社のきっかけは？

A. モノ作りにおいて「作ったら終わり」ではなく、リサイクルという末端までの工程を実現している会社で、各工程で様々な機器を導入している企業力に惹かれました。実際にリサイクル工場でのその工程を見学したことでスケールの大きさを感じられたのも理由のひとつです。

Q. 現在の仕事内容は？

A. 設備部は、全国の工場での製品生産からリサイクルするまでの設備に携わる部署です。設備の新規着手や老朽化による更新等でトレーを生産する環境を構築しています。私は、生産機械の新規導入、動作改善のための改造を現状の機械に反映させる業務等に携わっています。



才津 貴達
Takamichi Saitsu
入社6年目
設備部 機械課

06 SCM Supply Chain Management

重圧が達成感に変わる時

Q. 現在の仕事内容は？

A. SCM部は「必要な製品を」「必要な時に」「最小コスト」で供給できるよう「全体最適化」を行う部署です。営業部門からもらう出荷予定と、製品在庫、生産予定を擦り合わせ、確実に製品を供給できるよう、需給バランスを最適化するため、日々調整を行っています。

Q. 仕事の面白さ、やりがいは？

A. エフピコの全国にある生産・物流拠点を駆使して行うSCM業務の成否は、会社の業績にダイレクトに影響を及ぼすこともあるので、プレッシャーを感じると同時に、うまくやり遂げた時は大きな達成感を得られます。



小川 真央
Mao Ogawa
入社3年目
SCM部 SCM1課

07 製造 Manufacturing

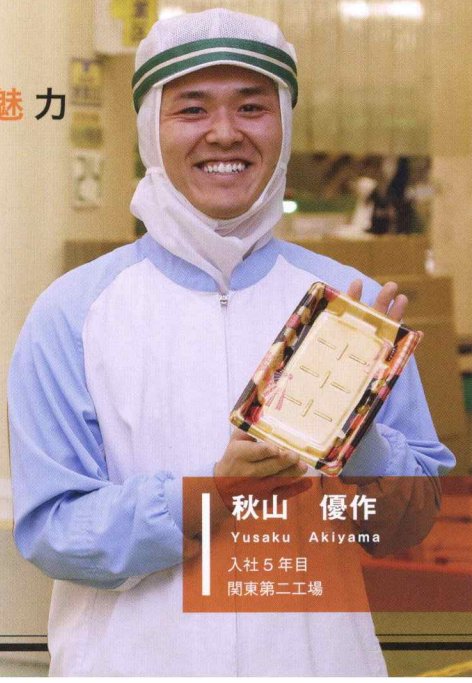
幅広い層の社員と共に働く魅力

Q. 入社のきっかけは？

A. 出身高校の地元でエフピコがあり、その存在は知っていました。就職活動の時期になり調べたら、日本のトレー業界のシェアのほとんどを占めていることがわかり、入社を決めました。

Q. 現在の仕事内容は？

A. 私が勤務する関東第二工場は、主にスーパー等に並べられている食品に使われる高発泡素材のトレーを製造しています。私は製造担当「オペレーター」です。入社当初は何種類もある機械の操作を覚えるのに苦労しましたが、現在は、工場内に11ラインある中の1ラインを担い、日々生産に努めています。



秋山 優作
Yusaku Akiyama
入社5年目
関東第二工場

08 物流 Logistics

「不可欠な存在」を担う使命

Q. 現在の仕事内容は？

A. お客様に製品を届ける物流は、エフピコグループにとってなくてはならない存在であり、製品の安定供給が私たちの使命です。倉庫管理と在庫管理が私の主な業務で、製品アイテムの出荷頻度に応じて効率良く作業ができるように倉庫内のアイテムの配置を考えたり、工場・各物流センター間の在庫移動の管理等を行っています。

Q. 仕事の面白さ、やりがいは？

A. 取り扱うアイテムの種類は日々入れ替わり、時期により在庫数も変化します。出荷頻度が高いアイテムは倉庫内の出荷効率の良いエリアに配置する等、常に頭を働かせる仕事ですが、自分の考えた配置によって無駄のない物流を実現できた時は達成感を得られます。



堤 直樹
Naoki Tutumi
入社2年目
八王子配送センター 倉庫課

うれしい時、悲しい時、忙しい時—いつでも「おいしい」があるシーンを
小売業、食品メーカーなど様々な企業とつくってきました。
これからの「おいしい」シーンをつくり、届けるために私たちの挑戦はまだまだ続きます。

エフピコで、共に。

食品トレー容器を通じて、快適な食生活を創造する



【東京本社】 〒163-6036 東京都新宿区西新宿 6-8-1 新宿オークタワー 36F TEL : 03-5325-7829
【福山本社】 〒721-8607 広島県福山市曙町 1-13-15 TEL : 084-954-1894

採用ページ



インスタグラム

